

令和2年度嘉麻市配偶者等からの暴力防止対策連絡協議会（要約筆記）

- 1 審議会等の名称 嘉麻市配偶者等からの暴力防止対策連絡協議会会議録
- 2 開催時期 令和2年11月26日（水）14時00分～15時30分
- 3 開催場所 碓井支所2階（会議室4）
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 出席者
【委員】 熊谷委員、笹峯委員、村谷委員、末富委員、渡辺委員、西野委員、日高委員、
松尾委員、大里委員、樗委員、岩本委員
【事務局】 佐伯課長、藤田係長、城相談員
- 6 傍聴人数（会議を公開した場合のみ）0人
- 7 内容
 - ① 会長あいさつ
 - ② 自己紹介
 - ③ 嘉麻市男女共同参画推進課の状況説明
 - ④ 嘉麻署管内の状況説明
 - ⑤ 嘉麻市社会福祉協議会の状況説明
 - ⑥ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の状況説明

内容（要点のみ筆記）

- 事務局 嘉麻市配偶者等からの暴力防止対策連絡協議会を始めさせていただきます。
会長よりご挨拶をお願いします。
- 市長 一会長のあいさつー
- 事務局 ありがとうございました。続きまして、各委員の自己紹介をさせていただきます。
- 委員 ー自己紹介ー
- 事務局 ー自己紹介ー
- 会長 議題に入ります。まず、嘉麻市の状況説明ということでよろしくをお願いします。
- 事務局 まず、平成31年度分を報告する。女性相談の件数としては、電話と面接あわせて計133件である。かま女性ホットラインは計26件である。DV関係の案件に特化すると、合計で77件である。本年度4月から婦人相談員をあらたに設置したところであるが、6月に入り立てつづけに4件ほど一時保護の対象となる相談があった。別添資料のとおりであるが、相談経由機関はそれぞれまちまちでさまざまな関係機関を経由して相談があげていることがわかる。
- 会長 続いて、嘉麻警察署の管内状況説明をよろしくをお願いします。
- 委員 DV、ストーカー、児童虐待は、人身安全事変や殺人事件に発展してしまう可能性がある。したがって、そうならないようにできる限り早期に対応しなければならないものである。感情的なところからエスカレートしてしまうといった特徴がある。DV事案は増加傾向がうかがえるが、やはりDVという認識が高まったという背景もあるのではないか。

会長 続いて、嘉麻市社会福祉協議会の状況説明をよろしくお願いします。

委員 生活福祉資金特例貸付の事業を行っており、このコロナ禍のなか、多くの相談があっている。9月末までで328件の相談があっており、そのうち346件手続を行ったところである。この中でDV案件と思われるものが5件程度あった。最初は、DV相談という内容ではなかったが、生活資金の相談を受けていく中で明らかになっていくケースも存在した。経済的困窮とDVは密接なものだが、嘉麻市やその他の関係機関と連携しながら対応したものもある。

会長 続いて、福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の状況説明をよろしくお願いします。

委員 県設置の婦人相談は、もともと売春防止法の流れを汲んでいる。昔は売春対策であったものが、だんだんと困難な状況にある女性の対策への広がっていったという経緯がある。その中でDV被害者の支援といったことが位置づけられていった。女性の人権を侵害する既存の婦人相談所をそのまま利用していくということで法律のたてつけがされている。県内では現在12か所のDV相談窓口を設置しているが、所在は明らかにしているものではない。加害者対策の問題を含んでいるものである。

会長 他に何かございませんか。なければこれで終了する。本日はお疲れさまでした。